

アコード EMS ニュース 79 号を送ります。EMS1 より「米国心臓協会と米国脳卒中協会が脳卒中傷病者の搬送に関する新たな推奨を発表」を取り上げました。地域を農村部・郊外部・都市部の3つに分け、それぞれの環境によりプロトコルを作成しています。日本とは環境が違いますが、参考になるとと思いますので、目を通してみてください。要約した全文と英文は下記よりダウンロードできるようにしました。



## AHA publishes new recommendations for transporting stroke patients

2021/3/31 掲載

### AHA が脳卒中傷病者の搬送に関する新たな推奨を発表

病院前脳卒中治療システム・コンセンサス・カンファレンスの論文は、トリアージおよび搬送先の指針を提供する



ダラス -The American Heart Association(米国心臓協会)は、脳卒中傷病者の病院前トリアージと搬送に関する新たな推奨を発表した。病院前脳卒中・治療システム・コンセンサス・カンファレンスを通じて作成され、AHA 誌脳卒中に発表された合意声明では、農村部、郊外部および都市部の地域社会における搬送先を決定するための指針原則が概説されている。

この声明は、米国神経学会、米国心臓協会 / 米国脳卒中協会、米国神経放射線学会、全米 EMS 医師会、全米州 EMS 担当者協会、神経介入外科学会、血管・介入神経学会から寄せられており、神経クリティカル・ケア協会によって支持されている。

「血栓摘出術などの脳卒中に対する新たな治療法の出現により、米国脳卒中協会は、都市部、郊外および農村部における地域計画の相違を考慮した急性脳卒中病院前トリアージへの全国的なコンセンサスアプローチの必要性を認識している。時間の危機的状況下では、最初の搬

送先病院の能力が臨床転帰に強く影響する可能性があるため、搬送の早さと根治的治療に必要な脳卒中ケアのレベルを統合することが肝要である」と、米国脳卒中協会諮問委員会委員長 Lee H.Schwamm 医師は声明の中で述べた。この新たな声明は、脳卒中に焦点を当てた主要な専門組織のコンセンサスによって作成され、地方コミュニティおよび地域社会の脳卒中ケアシステムを改善するために必要な推奨を提供するものである。」と述べている。

著者らは、主幹動脈閉塞(LVO)による脳卒中が疑われる傷病者は、最寄りの血管内治療(EVT)可能な脳卒中センターに優先的にトリアージされるべきであり、地域の公衆衛生機関が、地域特性および地理的な考慮事項を加味し、最も適切な脳卒中搬送先プランを決定するのに最も適していると強調している。

本稿では、農村部、郊外部および都市部の地域社会における脳卒中ケアシステム(SSOC)について、3地域それぞれの推奨セットを提示する。

#### 要約本文和訳の一部

### 「農村部・郊外部・都市部における地域別脳卒中搬送先プランの推奨」(要約)

#### 3つの知っておくべきこと

1. 主幹動脈閉塞(LVO) 傷病者に対する血管内治療(EVT)の実証された有益性は、地域脳卒中診療システム(SSOC)計画を更新するためのより具体的なガイダンスの必要性を生み出しました。この推奨は、静脈内血栓溶解と血管内治療(EVT)を含む最も適切な介入のために、急性脳卒中傷病者が適切な時間で適切な場所へ確実にトリアージされるのに役立ちます。LVOによる脳卒中が疑われた傷病者は、最寄りのEVT可能な脳卒中センターに優先的にトリアージされる必要があります。
2. 地方公衆衛生機関は、さまざまなレベルの認定脳卒中センター、独自の地域性および地理的な事情から、簡潔でバランスが取れ、実用的な最も適切な急性脳卒中の搬送先プランを決定するのに最適な組織です。
3. より低い認定レベルの脳卒中施設が最も近い場合、より包括的な脳卒中施設への許容可能な追加搬送時間に関して不確実性があります。本稿では、地方および地域の救急医療サービス(EMS)機関および脳卒中諮問委員会に対し、都市部、郊外部および農村部の3つの重要な地域設定における脳卒中診療システムの構成要素をどのように統合するかについての指針および推奨事項を提供します。

#### 背景

原本 2021/3/11 発行

2015年に、選択された急性虚血性脳卒中傷病者を対象としたEVTの研究では、有意な有益性が実証されました。その結果、2019年、American Heart Association(AHA:米国心臓協会)とAmerican Stroke Association(ASA:米国脳卒中協会)は2005年の脳卒中診療システムに関する提言の最新版を発表し、すべての適応する傷病者に静脈内血栓溶解療法を実施し、EVTを受ける機会を提供し、脳卒中センターの認定を全範囲へ反映させることの重要性を繰り返し述べました。しかし、包括的脳卒中センター(CSC)または血栓回収脳卒中センター(TSC)への至適許容追加搬送時間に関しては不確実性が残っています。急性脳卒中の専門家からなる多くの集学的委員会が開催され、特定の人口環境に合わせた病院前の搬送先プランのための一連のコンセンサス推奨が策定されました。委員会は、資源、病院の認定、地理、人口密度の相違、急性脳卒中診療の新しいモデルの医療提供者への教育、それらの脳卒中診療システム(SSOC)への影響に対応するために、脳卒中診療システム(SSOC)の地域特化の必要性を確認しました。この声明は病院前SSOCコンセンサス会議の推奨を要約しています。

本文に続く.....

全文はこちらよりダウンロードしてください。



地域別脳卒中搬送先プラン 要約  
和訳、原文(英語)

<http://www.accord-intl.com/document/strokedestination.html>

オートストップ  
バックル

### サムスリングII

前面が細いデザイン

最適な張力を維持しながら過度の引き締めを防止する。



前面が細いデザイン  
尿道カテーテル留置、IVR、創外固定、および取り外さずに腹部手術ができる。



ご意見や問い合わせはこちらまで。担当: 高橋 徹

Email: [takahashi@accord-intl.com](mailto:takahashi@accord-intl.com)

アコード  
救急ケア用品

アコードインターナショナル株式会社  
151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-9-4-1005  
TEL:03-3299-6751 FAX:03-3299-6752  
e-mail: [Accord@accord-intl.com](mailto:Accord@accord-intl.com) <http://www.Accord-INTL.com>

